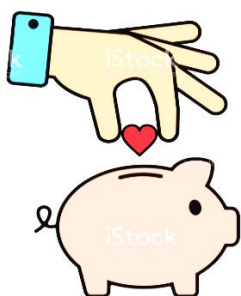




心の貯金

42日間の長い夏休みが終わりました。コロナの第7波の中ではありましたが、勉強を頑張った人も、スポーツに汗を流した人もいたと思います。そして、夏休みにしかできない体験もたくさんしたことと思います。家族で一緒に過ごす時間が増えた分、成長する子どもたちの素敵なおところを見つけ、たくさんの声掛けがあったのだろうと想像できます。もっとも、ちょっと小言が多かったかなという日もあったかもしれませんが…。

さて、子どもの心の中には、愛情を貯める「心の貯金箱」があると言われています。褒められた時、話をしっかり聞いてもらった時、「大好き」「あなたが大事だよ」「あなたの味方だよ」のように愛情が伝わる言葉を言われた時、スキンシップをしてもらった時など、親の愛情が子どもに伝わると「心の貯金」がたまっていきます。



心の貯金とは、心の余裕です。心に余裕が生まれると、「ぼくは、ぼくのままでいいんだ」「わたしは、わたしのよさがある」という感情、すなわち自尊感情が育っていくというのです。この自尊感情の育っている子どもは、自分を大切にするだけでなく、友だちや家族に優しくなり、母親との約束も守れるし、周りの人とのコミュニケーションが上手になれるようになります。やる気と自信が満ちあふれてきます。こうした子どもを「心の貯金」をたくさんもっている子というのだそうです。

もしも、「心の貯金」のたぐわえない子どもがいたとしたら、どうなるのでしょうか。自分はダメな子だと思ってしまい、自信が持てず、自分の居場所や、自分のよさを見い出すことができなくなります。また、頑張ったり、新しいことに挑戦したりしても、本来認めもらえるはずの人からの励ましや称賛がないとすれば、「努力しよう、頑張ろう」という気持ちは中々湧き起らないかもしれません。

貯金は使うと無くなってしまいます。「心の貯金」もそうです。子どもたちは日々「心の貯金」を使いながら生活をしているので、減ってしまうと大変です。だから、毎日コツコツと貯めたいものです。

大洲小学校の子どもたちは、とても素直です。友だちを大切に、協力することができます。すすんで仕事をする子も多いです。それは、保護者の方をはじめ、たくさんの地域の皆様方から子どもたちへ愛情を注いでいただき、「心の貯金」がたくさんあるからだと感じております。

そのような素晴らしい保護者の皆様・地域の方々にご支援・ご協力をいただいていることを忘れずに、私たちも、子どもたち一人一人の個性を受け止め、温かく見守り、プラスの声かけをしてまいります。今学期もどうぞよろしくお願いいたします。



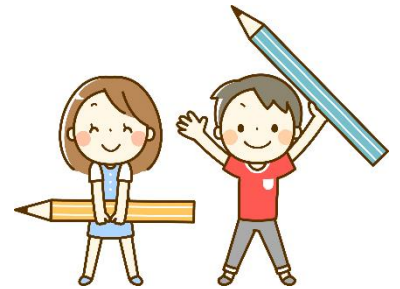


保護者アンケート（前期学校評価）より

6月に保護者アンケートを実施しました。お忙しい中、ご協力をいただきありがとうございました。回答から、学校に寄せる期待や要望の大きさが伝わってまいりました。今後の教育活動に生かしてまいります。
（集計結果は裏面をご覧ください）

◇「確かな学力」

- 「わからないことを自分から調べるなど、いろいろなことに興味を持って学習に取り組んでいる」「家庭学習の習慣が身についている」の肯定的回答の割合は、全小学校集計結果と比べ、それぞれ+10%、+8%で、良好な結果でした。
- 「授業が分かりやすいと言っている」については+1%でした。改善すべき項目として、今後も分かりやすい授業を意識し追究してまいります。



◇「豊かな心」

- 「友だちや近所の人などに、自分から進んであいさつをしている」の肯定的回答の割合は、全小学校集計結果と比べ、+7%で、良好な結果でした。あいさつの大切さについては今後も指導をしてまいります。
- 「自分の役割に責任を持って取り組んでいる」は、90%を維持しています。自己存在感を感得している児童が多いことが期待できます。
- 「誰とでも優しく関わっている」は96%で、全小学校集計結果と比べても、+3%ありました。
- 「いじめはいけないことと理解し、行動している」の肯定的な評価は99%でした。家庭教育や学校教育を通して人権の意識が育まれていることの証左と思います。大洲小学校として特に大切にしたいことの一つであり、100%を目指します。

◇「健やかな体」

- 「進んで（外で遊ぶなど）体を動かす」については85%で、全小学校集計結果と比べると+9%でした。今年度から「ロング昼休み」を取り入れましたが、今後も委員会活動等を通して、体力づくりの取り組みをしてまいります。
- 「規則正しい生活習慣（睡眠・食習慣など）が身についている」「健康で衛生的な生活を送ることを自ら心がけている（手洗いうがい、身支度、整理 整頓など）」について、肯定的な評価がそれぞれ90%、93%でした。生活習慣に関わることについては、保護者の方々に協力をいただきながら、保健指導、安全教育を充実させたいと考えます。また、コロナ禍もまだ続くことから、児童の手洗いうがいの励行や、消毒等の学校の衛生管理にも努めてまいります。



◇「信頼される学校」

- 「学校は、保護者の思いや願いに対して適切に対応している」「学校は、子ども一人一人に適切な指導や支援を行っている」については、学校としても最優先事項の一つと考えています。期待に応えられるように努力してまいります。
- 「学校は、特色ある取り組みや教育を進めている」については、学校の取り組みがなかなか理解されていない面もあるのではないかとのお意見もいただいています。地域とのつながりを大切にしたい教育や体験重視の活動など、期待に応えられるように努力するとともに、各種たよりやホームページ等で、学校の様子を積極的に発信してまいります。